

60

B!-CO

Build-communication

2018.10





鍛友会館 〈小牧市〉

設計: 東海・ビルド一級建築士事務所 施工: 株式会社 東海・ビルド

三代続く鉄工所の社員寮。

仕事(鍛造)を通して友となる場として「鍛友会館」と名付けられました。歴史を伝え、未来へと続く“道”をコンセプトに仕事のエキスパートを育て、人々が集いみんなが笑顔になれる場所を目指しました。コンセプトとなる道を軸に曲線状の建築を計画施工。ファサードはタイルと金属で覆われ小規模ながら重みのある建物です。内部にもコンセプトの道を通し、会社の歴史を展示する場所を作りました。曲面の壁が続く為、広がりや先がどうなっているのだろうという期待感が感じられます。

(設計部/橋本)

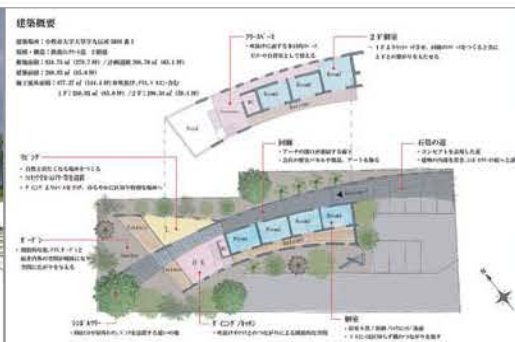


左下のイメージスケッチを提出。御施主様はファーストインプレッションをととても大事にされる方。細かな図面まで作成せずに、イメージスケッチを見せてほしいとの旨があり、設計部の橋本が会社の歴史、コンセプトを軸にデザイン。他社とのコンペの末にビルドでの建築を決定して頂きました。弊社の掲げる「感性=価値」に共感して頂き、立派な社員寮を施工させて頂きました。

(営業部/村松)



- 建物名 - 鍛友会館
- 所在地 - 小牧市大字大草
- 構造 - 鉄骨造 2階建
- 面積 - 敷地面積/922.01㎡(278.91坪)
建築面積/209.61㎡(63.41坪)
延床面積/262.13㎡(79.29坪)





中尾産業株式会社 新社屋 〈長久手市〉

設計：東海・ビルド一級建築士事務所 施工：株式会社 東海・ビルド

1、2階が会社・倉庫、3階が住宅というプログラム。

既存の建物を残して会社を営業したまま既存住宅を解体して、そのスペースにこのプログラムを入れ込むという設計。

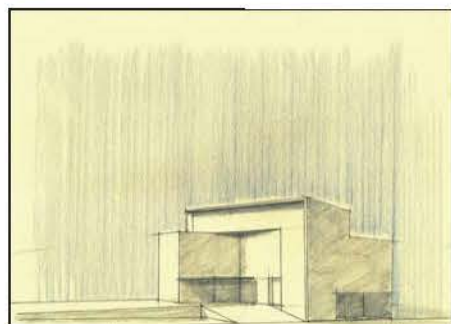
現状の会社社屋に影響のないエリアでどこまで建築可能かを探っている。

最大3mの高さを持つ擁壁に囲まれているので、その基礎底盤を避けて今回の建築の基礎を設定せねばならない。

あらゆる方向からのパズルを解くようなプランニングとなった

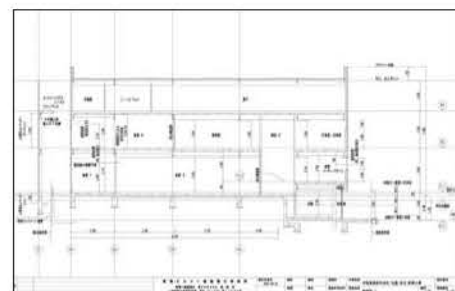
(設計部/森)

計画



スケッチ

3階を東に振ることで眺望を確保し、この部分を跳ね出すことで大きな底を作る。いろいろな角度の「面」の集積が建物の表情となる。



断面図

地階に住宅用ガレージと玄関を入れ込むために途中の1階までスキップフロア、2階からはフラットフロアに戻る特徴的な断面構成です。

新社屋完成



旧会社銘板と新銘板

旧社屋から取り外したものをコンクリート擁壁にはめ込んだ。歴史ある会社の顔を残して、会社敷地入り口には杉板型枠の打放しにステンレスの新銘板が置かれました。



応接室

小会議室としての機能も兼ねる。品良く落ち着いた内装が意図されました。



事務室

社員同士のコミュニケーションも取りやすい配置をと机レイアウトにも時間をかけました。



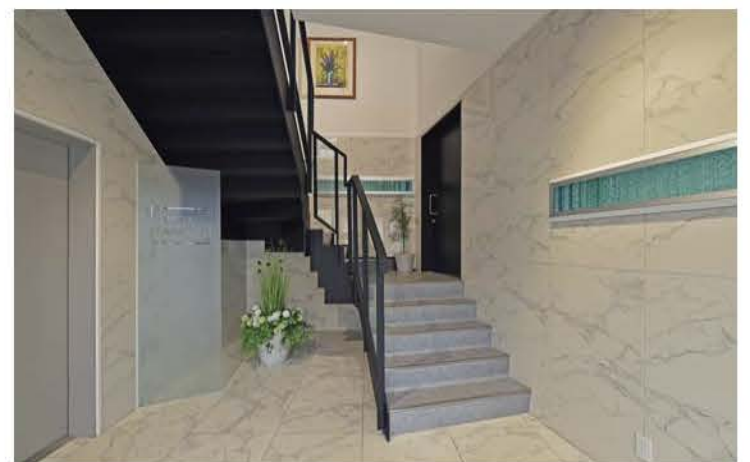
作業室

大きな台は反物や布を延ばす延反台といいます。縫製のマシンも増設を見越しています。



食堂

社員の皆さんがゆっくり昼食を摂ることが第一の目的。



会社玄関

ガラスアート作家・三ツ矢亮一氏による作品が壁に埋め込まれた。ガラスの断面を重ねて見せる作品と会社名が入るガラススクリーン。これらにより、階段の手すりもスチールからガラスに変更された。白い空間に浮かぶガラスアートの空間が迎える玄関。



打合せ風景

隣地の公民館をお借りしての打合せは毎回、暗くなくても続きました。



落成式

中尾産業関係各社と東海・ビルドをご招待いただき、お披露目の式典が行われました。

- 建物名 — 中尾産業株式会社 新社屋
- 所在地 — 長久手市
- 構造 — 鉄骨造地下1階地上3階建
- 面積 — 敷地面積/1443.93㎡(436.79坪)
建築面積/462.40㎡(139.88坪)
延床面積/1151.41㎡(348.30坪)



株式会社広辞不動産 新社屋 〈昭和区広路町〉

設計：東海・ビルド一級建築士事務所 施工：株式会社東海・ビルド

御施主様は秋中の地で不動産業を長年にわたって営まれ、今回の社屋の建て替えを期に社長の住宅もこの地に建設することを決断された。職住分離でありながら一部動線のみ繋げるという依頼は前掲の中尾産業と同じ。奇しくも同じようなプログラムで異業種の建築を2件同時に建設させて頂けた。

(設計部/森)

■ スケッチ・模型



以前、社屋建て替えのみの依頼をいただいて計画をしたが一旦凍結。

今回の住宅と一緒に建てる案につながった。

職住分離はファサードから見せていきたいと考えて、建物は一体としてコストを削減し、機能をエントランスから分けるという考え方で立体的にこれを解いた中尾産業に対し、こちらは平面構成での解決を探った。道路側に社屋、奥の庭側に住宅を配置しながらこれを視覚的にも機能的にも分ける装置としての大きな円弧壁がすべてを律する。

■ 新社屋完成



吹抜階段・事務室
円弧壁の内側に沿って入ると会社エントランス。吹抜階段を通じた商談室・事務室。事務室は道路に面して人の出入りがわかるように窓が開けられた。



LDK
円弧壁を突き抜けて住宅に入る。そのまま円弧壁が集う場所に誘う。



住宅エントランス
円弧壁の外側に入ると住宅用駐車場と玄関。そのまま円弧壁は家の外壁につながる。



外観
デザイン上も機能上も要となる円弧壁のみガルバリウム鋼板縦ハゼ葺きで仕上げ、他の壁との「区別」をはっきりさせた。



着工前の状況
四角い建物間にある「隙間」を、左写真の「アプローチ空間」に昇華させる。

- 建物名 — 株式会社広辞不動産 新社屋
- 所在地 — 名古屋市昭和区広路町
- 構造 — 木造 2階建
- 面積 — 敷地面積/331.13㎡(100.17坪)
建築面積/136.84㎡(41.39坪)
延床面積/251.91㎡(76.20坪)

住宅については色使い、素材などその決定のほとんどを委ねていただけ、思うような空間造りをさせて頂きました。事務所ではたくさんお持ちの絵画を、どこに展示するかまで決めさせて頂けて竣工後もお邪魔するのが楽しみな場所となりました。施主と施工者としての関係のみならず、土地探しなどをお願いできる強力なパートナーとしての関係も末永く続く様、これからもよろしくお願いします。

(設計部/森)

K様邸 —未完の家— 〈緑区有松町〉

設計：東海・ビルド一級建築士事務所 施工：株式会社 東海・ビルド



足掛け2年を超えるプロジェクトとなり、現在も建設中。建設途中で誌面に登場するのはBI-co史上初。

東海・ビルド初の施主セルフビルドとのコラボレーションがその理由です。

長年JAみどりに勤務され、代表理事組合長をも長年にわたって務められたK氏が自ら設計・工事に参加。早朝にK氏が現場で作業を行い、その後東海・ビルドが施工をするという過去に類をみない施工体制に加え、K氏が参加しているが故に見える現場の様子から毎日が変更や考え直しの連続。「また妄想が沸いたんだけど…」と始まるK氏からの電話が怖かった…。

(設計部/森)

■ スケッチ・模型



始まりは一本の電話。当社代表の大上に「暴れるやつを連れてきてくれ。」とK氏から依頼があり、なぜか私(森)が連れていかれた。初対面の場で理想とする家のビジョンを滔々と理路整然と語るK氏に圧倒されつつ、聞きながらその場で家の形が頭の中に出来上がっていた。

■ 打合せは日本各地!



熊本
K氏から採用を相談された木造免震基礎金物が熊本で施工中の状況を見学できるとのこと。K氏ご夫妻と熊本へ、地震被災状況とかねてから見たかった建築の見学も入れて熊本中を飛び回った。



京都
デザイン上のヒントと空中廊下のイメージを求めて京都へ。80年目の電化住宅「聴竹居」を含めた建築フルコース見学を行った。

■ こだわりの邸宅



杉板型枠コンクリート打放しに左官壁、正面のニッチにはガラスに土を塗ってヒビをいれ、このヒビから光が漏れるという殿垣左官の作品。下には祇園和硝子が敷かれています。



敷地
敷地はほぼ45度の斜面。ここにコンクリートボックスを埋め込んでその上に木造平屋を建築。これを空中廊下で母屋とつなぐという連続アクロバット。



左官
高山町屋「惣四郎」を訪れたK氏ご夫妻から東海・ビルド建築に数多く参加する殿垣左官の起用を依頼され、サンルームと門回りに左官施工。結果、「サンルーム」は「奥様専用スペース」に格上げされ、空中デッキが施工された。



空中廊下
通路だけではなく庭を見るギャラリーとしての機能が大切。ここから見る庭には施工によるせせらぎと流が涼しげな音と眺めを与えてくれる。



南の庭
デッキの下は足場用単管で組まれていてこれを利用してK氏の納戸が削られる予定。また水流は雨水をタンクにためてポンプでここに出している。この水流が空中廊下から見る滝につながり、タンクに戻るという循環を実現した。



LDK
空中廊下から、玄関からこの家に入ると必ずこの場所を通る。傾斜天井、段差天井により空間変化を楽しみながら高所からの採光と大窓による庭の眺めを取り入れるという贅沢な構成とした。和硝子などが展示されていて美術館リビングとなっている。キッチン構成はK氏が「座ったまま何でもできる」構成を提案。これを実現した。



暖炉
K氏が東京で見つけたものを私(森)も見に行き、軒余曲折を経て設置された。この場所は元々母屋2階のベランダ。細部にわたりこういった「K氏が各地で見つけたもの」が工事に組み込まれた。



地下秘密基地
基礎を空洞にすることで内部を利用する。トンネル空間の突き当たりがK氏の秘密基地。実は外部駐車場からこの中まで線路が引かれて人や物を運搬する計画で、線路施工はK氏がこれから行う予定。

- 建物名 — K様邸 — 未完の家 —
- 所在地 — 名古屋市緑区有松町
- 構造 — RC+木造(混構造) 2階建
- 面積 — 敷地面積/296.04㎡(89.55坪)
建築面積/118.85㎡(35.95坪)
延床面積/105.59㎡(31.94坪)

■ 御施主さまより

「感謝」以外に東海・ビルドさんに贈る言葉はありません。設計に対する80項目以上の要望を見事に実現した森部長の提案は、ほぼ完璧なものでした。在職時から大上社長とは人生のよきライバルとしてご厚情を頂いてきましたが、第二の人生のスタートにあたり、素晴らしいベースを建築して頂きました。この新築は今後の自分の老後生活に対する投資です。本来、老後は断捨離をして、家はコンパクトにして、ものは整理をして少なくしていくものとされています。しかし、私は逆にもっと多くのものを得て人生を楽しむつもりです。

「3重工法によるヒートショック防止のための高断熱」「800ガル(阪神淡路大震災の加速度)を400ガルまでに減震できる摩擦減震」「全長20メートルにもなる地下室」「ガラス張りの2階建渡り廊下による横移動中心のバリアフリー化」「自家消費電力の2倍を太陽光発電するための南面片流れ屋根(高断熱のおかげで猛暑の本年8月エアコン稼働でも余剰電力を充電)」「防災用備蓄雨水1.5トン循環させた滝や水路」等を「急傾斜地で施工する困難な工事」の中、素晴らしい高度な技術と経験で応えて頂きました。現場が「建築に精通した施主」の隣地で毎日チェックが入るといふ建築業にとって最も厳しい環境の中、誠実に丁寧に施工して頂き、大変満足しております。

たぶん、この建築に終わりはありません。私のさらなる妄想の実現に東海・ビルドさんには、これからもお世話になります。

■ 短期間でのリノベーション

御施主様は今や世界第2位のGDPを誇る中国企業の日本法人様。某自動車メーカーのハイブリッド用電池を供給されています。正に時代の先端を行く企業様です。
 今回の建物の立地はJR枇杷島駅前。建物、土地を購入してリノベーションを行うというのが今回の計画。
 完成の日程が決まっている為、何度も見積りを提出しては予算内に納める為にVEをする。
 これを短期間で行い、着工迄の段取りをつけていくという打ち合わせを重ねました。
 お盆中も工事が稼働して、無事工期内の完成に漕ぎ着けました。
 中国本社の方々にも拝見頂き満足して頂けたと感じています。



リノベーション前

■ 設計コンセプト

以前は、印刷工場兼事務所で使われていた建物を、1階をショールーム、2・3階を事務所にリノベーション。
 現事務所を拝見させて頂き、御施主様との打合せの中で内容を煮詰めていきました。特に1階のエントランスには壁面緑化(造花)を施し、訪問される方々を迎え入れるように演出。
 2・3階の事務所スペースでは、床をフリーフロアとしてフリーアドレス化にも対応できるよう機能的に計画し、働きやすい環境作りを心がけました。
 また、駐車場にはネットフェンスを設け、時間が経過することに薦が這うように計画しました。少し時間はかかりますが、緑が増えていく環境も楽しんで頂けると、うれしく思います。

- 建物名 — 科力遠CHS日本技研株式会社 新社屋
- 所在地 — 清須市
- 構造 — 鉄骨造 3階建
- 面積 — 敷地面積/668.90㎡(202.34坪)
 建築面積/238.25㎡(72.07坪)
 延床面積/731.26㎡(221.21坪)



2階 事務室



エントランス

■ 御施主様とのストーリー

御施主様には、以前ご自宅のリノベーションを弊社で設計施工させて頂きました。
 御施主様は名東区で美容室を経営されており、新店舗を計画されている中、「千種区で良い空き物件があるので、一度一緒に見てほしい。」とご依頼を頂きました。
 早速、ご自宅も担当させて頂いた工事部の現場監督と拝見させて頂いたところ、以前は飲食店として使われてはいましたが、内装の状態もよく、新店舗の計画を進めていくこととなりました。



■ 設計コンセプト

御施主様との初期の打合せでは、参考になる雑誌やインターネット等で画像を見てイメージを共有し、基本コンセプトを決定する事から始めていきました。
 コンセプトは、「シックで高級感があり、ニューヨークにあるような美容室」。基本カラーをグレー調に統一し、扉にモール材を取り入れてアンティーク風に。受付カウンター等の造作家具は落ち着いた木目柄を取り入れ、照明は間接照明を採用し柔らかい光を。シンプルな中に変化を持たせつつ、落ち着いたさりげない演出をしています。



名古屋市千種区若水3丁目5番30
 営業時間/AM9:00~PM7:00
 定休日/毎週月曜・日曜
 TEL.052-799-6989



第17回建築見学ツアー IN 近江のご案内

佐川美術館の茶室をもう一度見たい。良い建築は一度見ただけではわからないことをたくさん内包しています。今回は初めての方には是非体験して頂きたく、2回目の方には新たな発見をして頂きたく、敢えて過去に訪れている近江を選びました。幸運なことにこの期間は「琵琶湖ビエンナーレ2018」が開催されています。建築家ヴォーリーズの作品展とアート作品を堪能しましょう!

■佐川美術館

1998年(平成10年)、佐川急便創立40周年を記念して開館した。収蔵作品は、日本画家・平山都夫と彫刻家・佐藤忠良の作品が中心。美術館の敷地は大部分が水庭(人工池)になっており、水の上に浮かぶように見える2棟の切妻屋根の展示館(竹中工務店設計・施工)は、そのデザインが高く評価されている。「アートだけしが描いたアートが100点、アートだけし展」開催中。

■茶室

2007年9月2日に、十五代樂吉左衛門の陶芸(樂焼)作品を展示する「樂吉左衛門館」が併設された。茶室「常仰軒」と地下に沈み込む茶室「盤陀庵(ぼんだあん)」、円筒状にくり抜かれた「水露地」や立札で使用される「寄付」と呼ばれる部屋など、光と闇の世界と一つ一つの「素材」の魅力を体験できる。

■喜兵衛【郷土料理】(昼食)

地元近江の主婦が集まり、郷土家庭料理を提供するレストラン。広岡、蔵の間など近江の古民家で近江家庭料理をゆっくり楽しみましょう。

■BIWAKOビエンナーレ2018 “きざし〜BEYOND”

2001年から開催されている。近江八幡旧市街は、「近江八幡市八幡伝統的建造物群保存地区」の名称で国の重要伝統的建造物群保存地区として選定されている。しかし放棄され荒れ果てた多くの空き町家が点在し、近代建築や駐車場へと姿を変えている。残された貴重な建物の保存と活用を目的に長年放置されていた建物を、地元住民や日本全国から集まる有志たちの手で清掃することから始め、国内外より集まるアーティスト達が各々の空間を作品化していくのがこのビエンナーレ。街の数景もかねて、アートと町並を見学します。



佐川美術館



佐川美術館茶室



喜兵衛(外観)



喜兵衛(食事)



BIWAKOビエンナーレ2018



BIWAKOビエンナーレ2018

7:20 東海・ビルド集合(7:50発)	10:15~12:15 佐川美術館と茶室見学
12:45~14:15 喜兵衛(昼食)	14:20 和でん樂船場(水郷めぐり)
15:00~16:30 琵琶湖ビエンナーレ見学	
16:40~17:10 ラコリーナ近江八幡	19:15ごろ 東海・ビルド着

■日時/平成30年10月26日(金)

■受付締切/平成30年10月12日(金)

■費用/お一人様 ¥5,000 ※費用には交通費、品食代、名刺等の入場料が含まれます。
※茶室見学の関係上、定員30名になり次第、募集を締切らせて頂きます。

皆さんこんにちは、BI-co編集部です。
今年の夏の暑さは異常でしたね。名古屋市は35度以上の猛暑日が過去最多の33日記録したそうです。
最近ではようやく暑さを忘れさせる気候になってきました。
また今年は尋常ではないくらい自然災害の脅威を感じました。中国・近畿地方を襲った豪雨、大型の台風21号、震度7を記録した北海道地震と今なお傷跡が残っています。一日も早い復旧と被災者の方々が元の生活に戻れますように心からお祈りしたいと思います。
話題は変わりますが、金足農産高校の甲子園の活躍が連日取り上げられました。地元やそれ以外の方も元気づけられたと思います。
今年のドラフト会議、地元ドラゴンズの指名がどうなるか楽しみです。
これから秋の行楽シーズン突入です。今回の弊社の建築見学ツアーは滋賀県です。読書の秋、食欲の秋、建築の秋ですね。皆様のご参加お待ちしております。

TOKAI-BUILD NEWS | BI-co | 編集部

株式会社 東海・ビルド

特定建設業 知事(特27)第48209号 宅地建物取引業 知事(4)第18782号
東海・ビルド一級建築士事務所 住宅性能評価制度登録店
〒465-0008 名古屋市名東区猪子石原一丁目1307番地

☎052-772-9100 (代)



http://www.tokai-build.com
E-mail eigyo@tokai-build.com

東海・ビルド | 検索